

SONIC DEATH

written by HADEYA

1

君に、特別なプレゼントを贈る。感極まって、涙するに違いない。

アンダーグラウンドの伝説——〈キリミハデヤ〉の新作小説。こいつはブッ飛ばぜ！

作品名——覚悟。

2

求める。激しい〈何か〉を。それが何か自分でも分からず、闇雲に走る。

手の届かない未来を信じ、走り続ける。

走る。全力で。走る。力の限り。走れ走れ走れ。どこまでも。どこまでも……。

空を引き裂き、言ってやる。俺を見ろ、と。

その時、君は俺に信念を見る。命懸けの者しか知らないスリルを味わう。

俺の人生を否定できるか？ ……出来ない筈だ。

覆しようのないモノを〈立証〉と言う。その立証を今から見せる。

見せて、君たちとの別れとさせて頂く。

それが俺の最期の小説——覚悟。俺と言う人物が宇宙を生き証だ。

3

「切れよ……メッタ刺しに、な」

力を絞り、俺は告げた——最期の言葉を。血塗れの身体で。命乞いをするつもりは……ない。

「お前、分かってねえな。自分がどんな地獄を見るか。これから、お前は——」

唾を吐いた。〈奴〉の顔に。真っ赤な唾を。爽やかな笑顔を浮かべながら。次の瞬間——

……闇の中、奴が死体処分に入る。俺の肉体で奴はゴソゴソと何かをして嫌がる。

俺は……奴の背後にいた。どうも俺は得体の知れない〈何か〉になったようだ。

俺は言った。

「覚悟しな」

奴が背後を振り返る。間髪入れず、死体と奴の背後の魂が入れ替わる。瞬殺で俺は〈奴〉を仕留めた。

……後はもう想像が付くだろう。〈奴〉とは俺の事。俺とは〈奴〉の事。

虫の息の奴を見降ろし、付近のナイフを手を取った。そして、こう言ってやったのさ。

「ARE YOU READY？」

ってな。

刺した。フルスイングで一気に。返り血を顔一杯に浴び——

たった今、君は目覚めた。愛する者よ。

謙虚に、ダイナミックに。クレイジーで威風堂々と。

人生と言う何の〈遺産〉を生きろ。(ア)

キリミハデヤ

hadeyakirimi@gmail.com

81-080-9832-0574

口座名義:モリカワ ケンタロウ

三井住友銀行(店番号232) 普通口座 口座番号:7342872